

東海林恵史の

展覧会

【東北】



鉱山突入記



森の静寂 ラサ田川炭鉱



院内銀山郵便局消印



毎年の探訪記録 カンテラの灯



天空の鉄索 小串硫黄鉱山



忘却の山中 幸生銅山

本展は山形在住の鉱山研究家、東海林恵史氏の約20年に渡る現地調査の足跡をたどるものです。かつて日本中に星の数ほどあった鉱山。現在その多くがわずかな痕跡を残し廃鉱と化していく中、生来の調べ好きである氏は、湿地を横切り草をかき分け、時には同じ鉱山跡に何度も足を運び、記録のみならず墓銘や残存物、聞き取りなどを通して往時の鉱山生活を追っています。今回は、関係者のみに配布している限定探訪記録集「カンテラの灯」から内容を抽出してご紹介します。独自の切り口で孤高の展開を見せる「東海林鉱古学」をご堪能ください。

東海林恵史



けとうしかいりりん

1958年山形県尾花沢市生まれ。2019年3月中学校教員を定年退職し、現在は非常勤講師をしている。2000年頃から鉱山探訪を東北地方中心に行う。趣味は工作と散歩。

関連イベント

鉱山脈々

- [日程] 2020年2月23日(日) 13:30 ~ 15:30
- [内容] 鉱山と墓地・郵便・秘湯・生き物などのお話。
話し手/東海林恵史 進行/伊達伸明
- [会場] 東北リサーチとアートセンター(定員15名)
- [参加方法] 直接会場へ(予約優先)
- [参加料] 無料
- ※トーク開催時間中は展示をご覧いただけません

お問合せ

せんだいメディアテーク 企画・活動支援室
所在地 〒980-0821仙台市青葉区春日町2-1
TEL 022-713-4483 FAX 022-713-4482
メール artnode@smt.city.sendai.jp

しらべの細道とは？

研究や事業の準備段階とされる「しらべること」自体の魅力に着目する伊達伸明が、必ずしも自己表現を目的としないながらも、着眼点や圧倒的な蓄積ゆえに社会性を持つに至ったさまざまな活動の中から、その魅力やプロセス、記録方法などを紹介するシリーズ。長い時間をピンポイントな世界に捧げた調査・研究名人の眼差しと情熱を通して、今を見つめるヒントをさがります。

企画制作 しらべの細道

伊達 伸明 だて・のぶあき/美術家
1964年兵庫県生まれ。美術家。取り壊される建物から生活痕の残る材料を用いてウクレレを制作し、元の住人に手渡す「建築物ウクレレ化保存計画」を主宰。仙台では2012～2015年に「亜炭香古学」、2017年～「しらべの細道」を実施。

主催/
せんだいメディアテーク
((公財)仙台市市民文化事業団)

smt
art node



この紙はリサイクルできます

会場 TRAC | Tohoku Research-based Art Center
東北リサーチとアートセンター

所在地/〒980-0804 仙台市青葉区大町2-3-22第五菊水ビル3階
TEL・FAX/022-397-7256(会期中の金土日 13:00～20:00)

展示についてのお問合せ
せんだいメディアテーク企画・活動支援室(022-713-4483)

http://trac.smt.jp
[最寄り駅] 地下鉄東西線「大町西公園駅」東1出口(徒歩1分)

